

第10回 中学生まちづくり議会

2月1日、次代の本庄市を担う中学生に市政への関心と理解を深めてもらうことを目的に、「第10回中学生まちづくり議会」を開催しました。



市 内5中学校から20人の生徒が中学生議員として参加し、市のまちづくりに対する質問や提案を行いました。また、昨年の議員提出議案の「マナーアップキャンペーン」について、各校の今年度の取り組み状況を発表しました。

ここでは、中学生議員から挙げられた質問や意見の一部と、議員提出議案の内容を紹介します。

第10回中学生まちづくり議会参加生徒（敬称略）

【本庄東中】 中尾駿介(2年)・奈良咲蘭(2年)・山田 響(2年)・栗原大弥(1年)

【本庄西中】 音頭わかば(2年)・金子陽平(2年)・田中千李(2年)・山形紗希(1年)

【本庄南中】 板倉亮介(2年)・亀田怜佳(2年)・田島史也(1年)・渡辺竜仁(1年)

【児玉中】 齊藤 紬(2年)・中林優人(2年)・廣瀬歩夢(2年)・間正菜菜(2年)

【本庄東高等学校附属中】 落合爽太郎(2年)・菅原千聖(2年)・山岸優太(2年)・山田菜の子(2年)



本庄駅周辺のまちづくりについて

Q 元ブララの施設を中心とした本庄駅周辺のまちづくりは？

本庄東中
山田 響 議員

A 本庄駅周辺は、交通利便性を活かすとともに、安心して住むことができ、滞在の楽しさを感じることのできる「まちなか再生」の拠点となることを目指しています。元ブララの施設は、民間施設のため活用について市だけで決めることはできませんが、所有者と話し合いをし、協力をいただきながら駅前の活性化につなげていきたいと考えています。

はにぼんプラザの活用について

A はにぼんプラザのオープンにあたり、広報ほんじょう6月1日号で施設利用の案内をお知らせしました。今後も積極的に周知していこうと考えています。会議や研修会などで使われることが多い機材などは、無料で貸し出しを行い、利用者の利便性向上に努めています。

Q はにぼんプラザの利用方法のお知らせや、機材の貸出方法を工夫することで利用者が増えるのでは？

本庄西中
山形 紗希 議員



大規模災害発生時の対応について

Q 災害発生時の対策や活動への現在の取り組みと、今後の予定は？

本庄南中
田島 史也 議員

A 防災訓練の実施、食料品や毛布の備蓄など、災害発生時に備えた対応に取り組んでいます。また、自主防災隊の行う研修会への活動支援を行い、地域防災力の強化を図っています。今後は、災害への日頃の備えと、災害時にとるべき行動をまとめた「防災ハンドブック」の作成を予定しています。

競進社模範蚕室や塙保己一記念館のPR方法について

A 競進社模範蚕室の昨年度入館者数は4,437人で、前年度の約8倍。塙保己一記念館はリニューアルオープン以降毎月1,000人前後の来館があり、以前の2~3倍に増加しています。市内市外の別については、両館とも半数程度が市外からの来館となっています。

Q 競進社模範蚕室や塙保己一記念館の来館者数と市外の方の関心の状況は？

児玉中
間正 菜菜 議員



本庄市の積極的なPRによる知名度向上について

Q 本庄市が知名度向上のために実際に行っていることは？

本庄東高等学校附属中
落合 爽太郎 議員

A 「ゆるキャラ。グランプリ」で全国7位に輝き、本市の名前を広めてくれた「はにぼん」や、リニューアルオープンした塙保己一記念館のPRを行っています。競進社模範蚕室や旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、世界文化遺産とのつながりを活かしたPRに向け整備を進めています。今年度は観光情報誌「るるぶ本庄市」の作成を行い、本市の魅力を発信していく予定です。



本庄西中
金子 陽平 議員

分けなどができるようにしていきたいです。これが実現すれば、私たち生徒は安全に登下校ができるようになりますし、地域の方々も安心して生活することができるようになります。また、交通安全も減ると思います。具体的には、自転車通学者には並列走行や二人乗り、校則違反のハンドルの使用をやめるように呼びかけたり、下校時に学校近くの通学路に立って、マナーチェックをしたりできるのではないのでしょうか。今回中学生まちづくり議会で取り上げることで、本市全体の中学生の「交通マナーのGRADE UP」を目指していきたいと考えています。中学生が中心となってこのような取り組みを行うことによって、本庄市民全体のマナーが向上し、明るいまちづくりにつながっていくと思います。

議員提出議案

交通マナーの
GRADE UP

